

事業報告

東京 2020 応援プログラム：セミナー「スポーツの祭典の継承」の開催

富田 幸 祐（オリンピックスポーツ文化研究所）
乳 井 勇 二（総合スポーツ科学研究センター）

今年度オリンピックスポーツ文化研究所では「スポーツの祭典の継承」と題したセミナーを開催した。このセミナーは2018年度から2020年度にかけて3年間の開催を予定しており、今年度はその1年目であった。2018年度は副題に「オリンピック・パラリンピックを識る」を掲げ、計3回の開催となった。講座名、開催日時、場所、講師、概要は以下の通りである。

講座1：オリンピック・パラリンピックの理念
日時：2018年10月23日（火）18:00～19:00
会場：東京・世田谷キャンパス 教育研究棟5階 大会議室
講師：関根正美（日本体育大学 体育学部 教授）

講座1ではオリンピックとパラリンピックの理念について、それぞれクーベルタンの思想とオリンピックイズムの考え方、パラリンピック、IPC（国際パラリンピック委員会）の使命を通して整理がなされた後に、オリンピックとパラリンピック、それぞれの理念の中にある固有性と、その両者が重なり合う中で生まれる平和の祭典としてのオリンピック・パラリンピックが持つ可能性、意義について報告がなされた。

（文責・富田）

講座2：東京オリンピック・パラリンピックの歴史の実相：1940-1964-2020
日時：2018年11月20日（火）18:00～19:00

会場：東京・世田谷キャンパス 教育研究棟2階 1202

講師：富田幸祐（日本体育大学 オリンピックスポーツ文化研究所 助教）

これまで日本においては東京、札幌、長野と計3回のオリンピックが開催されている。この内、夏季大会については1964年の東京大会以来となり、2020年は再び東京で開催される。こうした背景の中で1964年の東京オリンピック・パラリンピックは各メディア媒体を通じて再び注目を浴びている状況にある。そこで講座2では、いま再び語り直されている1964年の東京オリンピック・パラリンピックと、1964年に書き残されたものや報道されたものを通して垣間見える歴史経験を比較しつつ1964年東京オリンピック・パラリンピックの歴史の実相について報告がなされた。

（文責・富田）

講座3：スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
日時：2018年12月11日（火）18:00～19:00
会場：東京・世田谷キャンパス 教育研究棟2階 1201
講師：石川直・秋和真澄・乳井勇二（日本体育大学 特別研究員）

概要

1. 事業概要説明
2. 実践事例報告
3. 日体大の取組
4. ワークショップ

主催者であるオリンピックスポーツ文化研究所長関根正美教授より本事業の説明と事業に携わる特別研究員3名の紹介があり、その後特別研究員より本事業の詳細と全国各地で行われている推進校の実践事例の紹介、さらに日体大が取り組んでいるオリンピック・パラリンピック教育授業指導案、推進校児童・生徒を対象としたアンケート調査の結果、総合的な学習の時間を使ったパラリンピック教育の映像教材が紹介された。セミナー後半では、「地元でどんなオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを起こしますか?」というテーマで参加者全員によるワークショップを行った。参加者それぞれが出身地域に分かれ、地元でオリパラムーブメントを起こし、レガシーとして残していくためにさまざまな企画が考案された。最後にグループの代表者よりそれぞれの企画の目的と実践内容について発表し、参加者全員で共有した後、2020年東京大会にさまざまな形で関わっていく日体大生が就職後、地元など色々な場所で地域の方や子ども達に伝えていくのがオリパラムーブメントでありとても大切なレガシーとなるので、みなさんが経験できたことを積極的に発信して欲しいと呼びかけ、セミナーを終えた。

(文責・乳井)

(受理日：2019年4月1日)



写真1 講座1より



写真2 講座2より



写真3 講座3より